

# 令和7年度 神戸市立西郷小学校 学校評価報告書

神戸の教育が目指す人間像	教育ビジョン	神戸が目指す これからの学校の姿				
心豊かに たくましく生きる人間	自他を大切に 自ら考え 未来をつくる	人がつながり ともに創る みんなの学校				
学校の校目指すべく	「あ」 あたたかい言葉をたくさん言える子      「じ」 自分を大事にする子      「さ」 最後までやり遂げる子      「い」 命を大切にする子					
内容	重点的な取組み	評点 (4段階)	特記事項 (学校自己評価)	関係者評価 (学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等)	学校自己評価、関係者評価を踏まえた 次年度の重点的な取組みの案	
豊かな心をもち、自ら学び考える子供を育てる						
育てたい子供の姿	温かい言葉をたくさん言える子	・ 進んであいさつをする ・ 温かい言葉をつかう	3	今年度は、登校時に6年生が門に立ち、あいさつ運動に取り組んだ。昨年度よりも確実に児童の意識が高まっている。	あいさつのできる児童が増えてきている。温かい言葉は人間関係を作る上でも大切。家庭においても温かい言葉を使うことが大切。	学校での指導と並行して、学校での取り組みを地域にも発信し、学校と家庭、地域が協力して取り組んでいきたい。
	自分を大事にする子	・ 自分の考えをもつ ・ 自己有用感を高める指導	3	ほめることを意識して日々の教育活動に取り組んだ。職員研修や学年の打ち合わせ時にも威圧的な指導になっていないかと振り返りを大事にした。	授業中、ほめることを大切にしてくれていると感じる。教室に入れない児童に寄り添う先生の姿を見て、一人一人を大事にしてくれているなど思った。	威圧的な指導にならないよう、教員間での互いを振り返る時間を意図的にとっていききたい。
	最後までやりとげる子	・ 個別最適な学び ・ 委員会や係の活動	3	最後まで粘り強く頑張る児童と早い段階で集中力が途切れてしまう児童の差が激しい。	自分の役割を最後まで頑張る児童が多いと思う。その様子から、先生方の指導や声掛けが活きていると感じる。	全てが教師の指示が活動させるのではなく、自分でどうすべきかを考えさせ、活動に取り組みさせていきたい。
	命を大切にする子	・ 友達の意見を聞く ・ 防災、減災の学習と取組み	3	今年度は、とくに5年生となかよし学級で継続的に防災学習に取り組んだ。その他の学年も幼稚園と合同で学習に取り組んだ。	命の大切さを学ぶ取り組みが、学校行事にも多く設けられている。地域で危ないことをして遊んでいる子がいない。	総合の授業では、5年生が防災学習に特化して取り組んでいる。外部の人材とも交流し、学習機会を多く設けている。
	①子供が主役のこれからの学び (授業改善)	・ 個別最適な学び・協働的な学びの体系的な充実	3	校内、校外の研修を通じて、教師一人一人が授業力を高める取り組みを行っている。	子供たちが意欲的に授業に参加していると感じる。グループでの活動の時間もたくさんとっていき、先生方の工夫を感じる。	児童一人一人の学習進度や個性に合わせ授業が展開できるよう、レベルの高い研修をおこなっていき、児童の学びにつなげていきたい。
必須テーマ	②地域とともにつくる 開かれた学校 (CSの充実)	・ 各回で学校評価をいただく ・ 校内研修への委員の参加	2	第2、3回の学校運営協議会で、委員の皆様からの学校評価をいただき、学校運営に活かすことができた。ただ、校内研修に委員の皆様に参加をしていただくことができなかった。	運営協議会に教員の方が参加してくれるなど、地域と教員との距離を縮める配慮を感じた。これからも保護者や地域と連携した取り組みを続けていきたい。	来年度の校内研修には、委員の皆様と近隣の幼稚園、保育園の先生方をお招きして、本校の取り組みと評価をいただきたい。
	③業務改革	・ 心身の健康増進	3	業務改革がなかなか進んでいない現状がある。他校の取り組みなど参考に改革を進めていきたい。	先生の業務改革は終わりのない課題がたくさんあると思う。先生方一人一人が自分なりのウェルビーイングを意識し追及することが大切だと思う。	笑顔で児童の前に立つことのできる環境を整えるため、他校の取り組みや教師でアイデアを出し合い、業務改革に取り組んでいきたい。
	④いじめ防止対策に関する取組み	・ いじめ問題対策委員会の定期開催 ・ いじめアンケートの実施 (年3回) ・ 指導体制の充実	3	児童間トラブルがあると、いじめ、あるいはいじめの疑いがある可能性があることを常に意識し対応に当たった。また、職員間での情報共有も大切に、いじめの防止、早期発見に務めることができた。	いじめは、初期対応が大切だと思う。地域としても気づいたことは、学校に連絡をして協力していきたい。	今年度の取り組みを来年度の続けていきたい。また、いじめ防止、早期発見ができるよう職員研修の機会を増やし、職員のスキルアップにも取り組みたい。
	⑤不登校支援の取組み	・ 不登校対策委員会の定期開催 ・ 校内サポートルームの積極的な活用	3	児童と保護者の思いに寄り添い、丁寧な対応を心がけた。また、積極的なあじさいルームの活用や関係機関の紹介や連携をすることで、より効果的な支援ができるようになった。	丁寧に取り組んでいると感じる。今後とも、一人一人に寄り添った対応をお願いしたい。	より一層のあじさいルームの充実と関係機関との連携で、児童や保護者の困り感に寄り添っていききたい。

【評点】 4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：どちらかと言えば課題がある 1：課題がある